城下町周辺地区循環バス運行社会実験について

第２次佐倉市地域公共交通網形成計画に位置付けている事業である「まちづくりと連携した路線の運行」について、城下町周辺地区循環バス運行社会実験として令和４年１２月から開始。

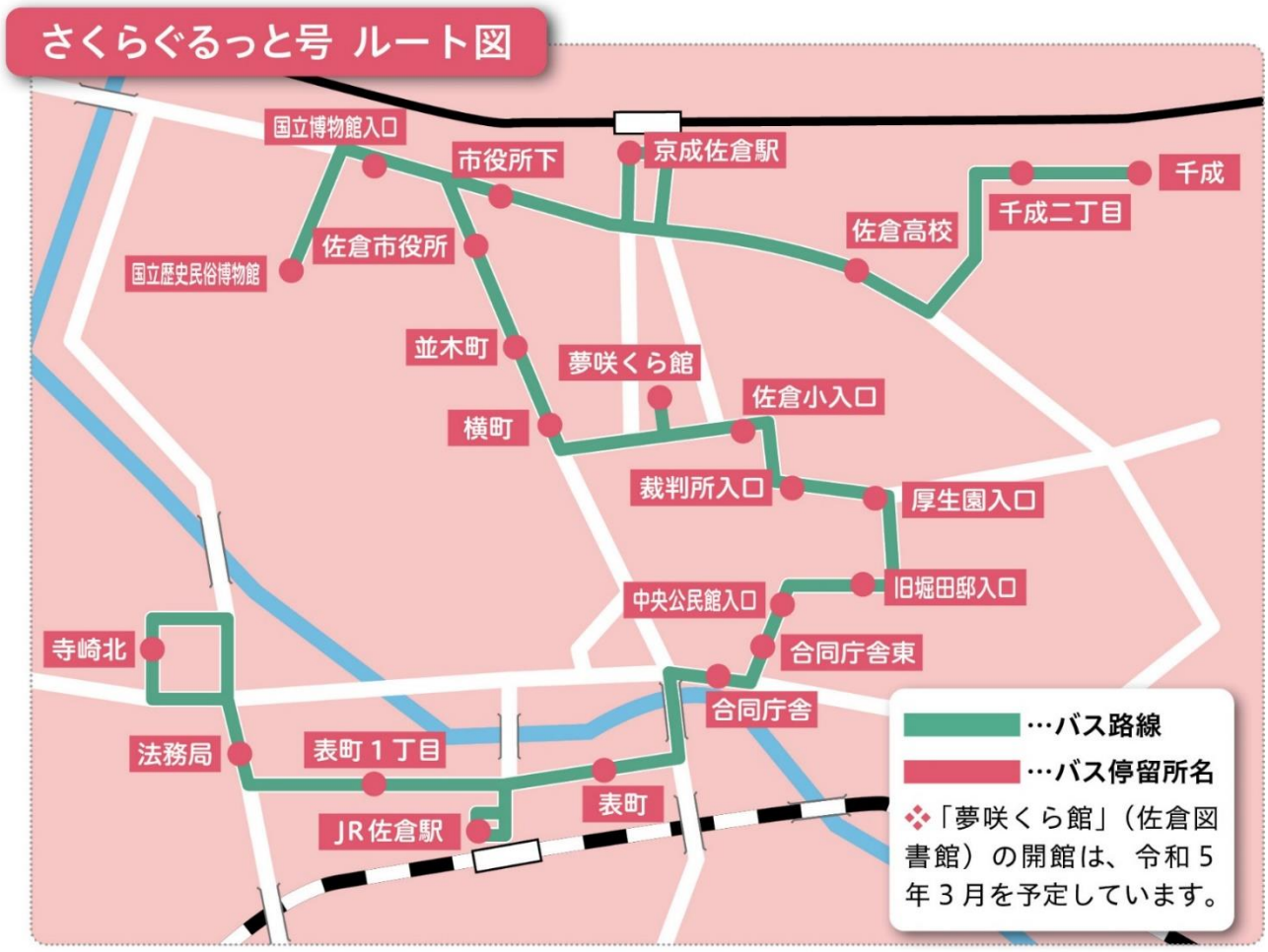
京成佐倉駅と JR 佐倉駅の間に位置する城下町周辺地区における地域住民の日常生活の移動手段の確保及びまちなかの交流人口の増加を目的として、駅、公共施設、商業施設及び観光資源とのネットワーク強化を図るもの。

国土交通省の認定を受けた「城下町周辺地区都市構造再編集中支援事業」の一環として、国の交付金を活用して実施。

1．社会実験の概要

- 実 施 期 間：令和４年１２月１９日～令和６年３月３１日まで
- 運 行 系 統：千成線　愛称「さくらぐるっと号」
- 運行時間･便数：９時台～１８時台　(往復)１０便
- 運　　賃：１７０円～３７０円（距離制運賃）
- 運 行 事 業 者：ちばグリーンバス株式会社

2．運行ルート



（第２次佐倉市地域公共交通網形成計画　抜粋）

事業３　まちづくりと連携したネットワークの構築

■　概要

都市マスタープランの一部である「佐倉市立地適正化計画」と連携し、市の玄関口として位置づけられており、市街化区域人口密度が最も低い佐倉・根郷地域の対策を行います。

■　実施事業

①　まちづくりと連携した路線の運行

京成佐倉駅と JR 佐倉駅に挟まれた区域は、公共施設や商業施設、観光施設が分散して立地しています。このため、市内居住者の日常生活における移動手段の確保、交流人口の増加を目的とし、京成佐倉駅と JR 佐倉駅を結ぶ新たなバスの運行などによって、駅、公共施設、商業施設及び観光資源とのネットワークの強化を図ります。

まちづくりと連携した路線の対象エリア

✧　実施主体：市民、交通事業者、佐倉市、周辺施設